

2015 年 (平成 27 年)

## 【原著】

1. Takagi Y, Matsuoka Y, Shiomi T, Nosaka K, Takeda C, Haruki T, Araki K, Taniguchi Y, Nakamura H and Umekita Y.\* \*corresponding author  
Cytoplasmic maspin expression is a predictor of poor prognosis in patients with lung adenocarcinoma measuring less than 3cm. *Histopathol* 66: 732-9, 2015.
2. Shiomi T, Yoshida Y, Yamamoto O and Umekita Y.  
Extramammary Paget's disease: evaluation of the adnexal status of 53 cases. *Pol J Pathol* 6: 121-124, 2015.
3. Sejima T, Iwamoto H, Masago T, Morizane S, Yao A, Umekita Y, Honda M and Takenaka A.  
Initial evidence demonstrating the association between the vascular status in surgically resected renal parenchymal pathology and sexual function. *Int J Impot Res* 27: 90-94, 2015.
4. Nosaka K, Horie Y, Shiomi T, Itamochi H, Oishi T, Shimada M, Sato S, Sakabe T, Harada T and Umekita Y.  
Cytoplasmic Maspin Expression Correlates with Poor Prognosis of Patients with Adenocarcinoma of the Uterine Cervix. *Yonago Acta Medica* 58: 151-156, 2015.
5. Watanabe J, Saito H, Miyatani K, Ikeguchi M and Umekita Y.  
TSLP Expression and High Serum TSLP Level Indicate a Poor Prognosis in Gastric Cancer Patients. *Yonago Acta Medica* 58: 137-143, 2015.
6. Itaba N, Sakabe T, Kanki K, Azumi J, Shimizu H, Kono Y, Matsumi Y, Abe K, Tono T, Oka H, Sakurai T, Saimoto H, Morimoto M, Mabuchi Y, Matsuzaki Y and Shiota G.  
Identification of the small molecule compound which induces hepatic differentiation of human mesenchymal stem cells. *Regener Ther* 2: 32-41, 2015.

## 【症例報告】

1. Matsumoto K, Nosaka K, Shiomi T, Matsuoka Y and Umekita Y.  
Tumor-to-tumor metastases in Cowden's disease: an autopsy case report and review of the literature. *Diag Pathol* 10: 172, 2015.
2. Kaneda S, Fujii S, Nosaka K, Inoue C, Tanabe Y, Matsuki T and Ogawa T.  
MR imaging findings of mass-forming endosalpingiosis in both ovaries: a case report. *Abdom Imaging* 40:471-4, 2015.
3. Suzuki S, Yoshida Y, Shiomi T, Yanagihara S, Ito A, Kimura R and Yamamoto O.  
Squamous cell carcinoma arising on plantar verrucous lesion. *J Dermatol* 42: 1010-1011, 2015.
4. Yoshida Y, Shiomi T and Yamamoto O.  
Pigmented dermatofibrosarcoma protuberance and blue naevi with similar dermatoscopy: A

case report. *Acta Derm Venereol* 96: 272-273, 2015.

## 【学会発表】

1. Matsuoka, Y, Wakahara M, Yurugi Y, Takagi Y, Haruki T, Miwa K, Araki K, Taniguchi Y, Nosaka K, Shiomi T, Umekita Y and Nakamura H  
Prognostic significance of solid or micropapillary component in pulmonary invasive adenocarcinoma measuring  $\leq 3$  cm  
16th World Conference on Lung Cancer, Denver, Colorado, USA, September 2015.
2. 松岡佑樹、高木雄三、野坂加苗、塩見達志、春木朋広、荒木邦夫、中村廣繁、梅北善久  
3cm 以下の浸潤性肺腺癌 115 例における Solid および micropapillary component の予後因子としての検討. 第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
3. 高木雄三、松岡佑樹、塩見達志、野坂加苗、梅北善久  
細胞質における maspin 発現は 3cm 以下の肺腺癌に対する予後不良因子である  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
4. 坂部友彦、汐田剛史、梅北善久  
非小細胞肺癌患者における CD117 発現の臨床的意義  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
5. 栗原理佳、土居歩、野内直子、塩見達志、梅北善久  
病理解剖により原発巣が同定された胃印環細胞癌の一例  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
6. 西川ゆかり、田村丈、和田のどか、塩見達志、梅北善久  
皮膚転移巣で特異な組織像を呈した悪性黒色腫の一例  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
7. 窪田紀彦、河野久美子、塩見達志、梅北善久  
水疱部に神経線維腫様の組織像を伴った水疱性類天疱瘡の一例  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
8. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
CD44 陽性肝癌幹細胞の mRNA/miRNA 発現解析と臨床的意義  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
9. 板場則子、神吉けい太、坂部友彦、阿部健一郎、安積遵哉、國田慎弥、清水寛基、河野洋平、森本稔、汐田剛史  
肝細胞分化誘導性の新規低分子化合物の解析  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
10. 神吉けい太、石島直樹、清水寛基、安積遵哉、坂部友彦、汐田剛史  
レチノイン酸による細胞内エネルギー代謝制御によるソラフェニブの肝細胞癌への作用増強機序. 第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
11. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
肝癌幹細胞を標的とする低分子化合物の効果の検討  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.

12. 安積遵哉、坂部友彦、汐田剛史  
microRNA-181a は RASSF1 発現抑制を介してソラフェニブ感受性を低下させる  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
13. 阿部健一郎、清水寛基、板場則子、坂部友彦、神吉けい太、汐田剛史  
新規 Wnt/β-catenin 経路抑制性低分子化合物による肝星細胞活性化の抑制効果  
の検討. 第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
14. 坂部友彦、安積遵哉、梅北善久、汐田剛史  
新規 ICG-001 誘導体 IC-2 は肝癌幹細胞を抑制する  
第 74 回日本癌学会学術総会 名古屋, 10 月, 2015.
15. 遠藤由香利、福原隆宏、竹内裕美、梅北善久、北野博也  
VTQ の線維化評価を利用した穿刺吸引検体の細胞採取量の検討  
第 48 回日本甲状腺外科学会学術集会 東京 10 月, 2015.
16. 若原誠、春木朋広、大島祐貴、松居真司、万木洋平、松岡佑樹、三和健、  
荒木邦夫、谷口雄司、中村廣繁  
非小細胞肺癌術後初回脳転移再発症例の臨床病理学的検討  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
17. 万木洋平、春木朋広、大島祐貴、松居真司、若原誠、松岡佑樹、三和健、  
荒木邦夫、谷口雄司、中村廣繁  
術後胸膜再発を来たした浸潤性肺腺癌の臨床病理学的検討  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
18. 松岡佑樹、大島祐貴、松居真司、万木洋平、若原誠、春木朋広、三和健、  
荒木邦夫、谷口雄司、梅北善久、中村廣繁  
細胞質 maspin 発現は肺扁平上皮癌に対する予後不良因子である  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
19. 三和健、大島祐貴、松居真司、万木洋平、若原誠、春木朋広、荒木邦夫、  
谷口雄司、中村廣繁  
肺癌口ボット支援手術の現状と最近の工夫  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
20. 渡邊淨司、齊藤博昭、宮谷幸造、池口正英、梅北善久  
胃癌患者における Thymic Stromal Lymphopoietin の臨床的意義  
第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
21. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
CD44 陽性肝癌幹細胞関連 miRNA を用いた幹細胞癌患者予後予測因子の探索  
第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
22. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
肝癌幹細胞に対する新規 Wnt シグナル抑制性低分子化合物 IC-2 の効果検討  
第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
23. 安積遵哉、坂部友彦、坪田智明、汐田剛史  
microRNA-181a は RASSF1 の発現抑制を介して肝細胞癌細胞株におけるソラフェニブ感受性を抑制している

第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.

24. 漆原正一、朝井良磨、安積遵哉、坂部友彦、坪田智明、池口正英、汐田剛史  
大腸癌幹細胞を標的とした Wnt/β-catenin 経路抑制性低分子化合物の効果の検  
討. 第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
25. 小松宏彰、佐藤慎也、澤田真由美、野中道子、野坂加苗、佐藤誠也、千酌潤、  
島田宗昭、大石徹郎、板持広明  
卵巣漿液性腺癌との鑑別に苦慮した悪性腹膜中皮腫の 1 例  
第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.
26. 荒木邦夫、若原誠、谷口雄司、中村廣繁、松重貴大、遠藤由香利、大野千恵子、  
桑本聰史、野坂加苗、堀江靖  
末梢単発性の浸潤性粘液産生性肺腺癌における画像と術前生検・細胞診の特徴  
第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.
27. 松重貴大、持田洋利、遠藤由香利、大野千恵子、野坂加苗、桑本聰史、堀江靖、  
梅北善久  
主膵管内進展を伴う膵腺房細胞癌の 1 例  
第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.
28. 遠藤由香利、桑本聰史、大野千恵子、松重貴大、持田洋利、野坂加苗、松本和也、  
広岡保明、梅北善久、堀江靖  
膵液細胞診における膵腫瘍の IMP3, p53, Smad4 免疫細胞化学の診断的有用性  
の検討. 第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.